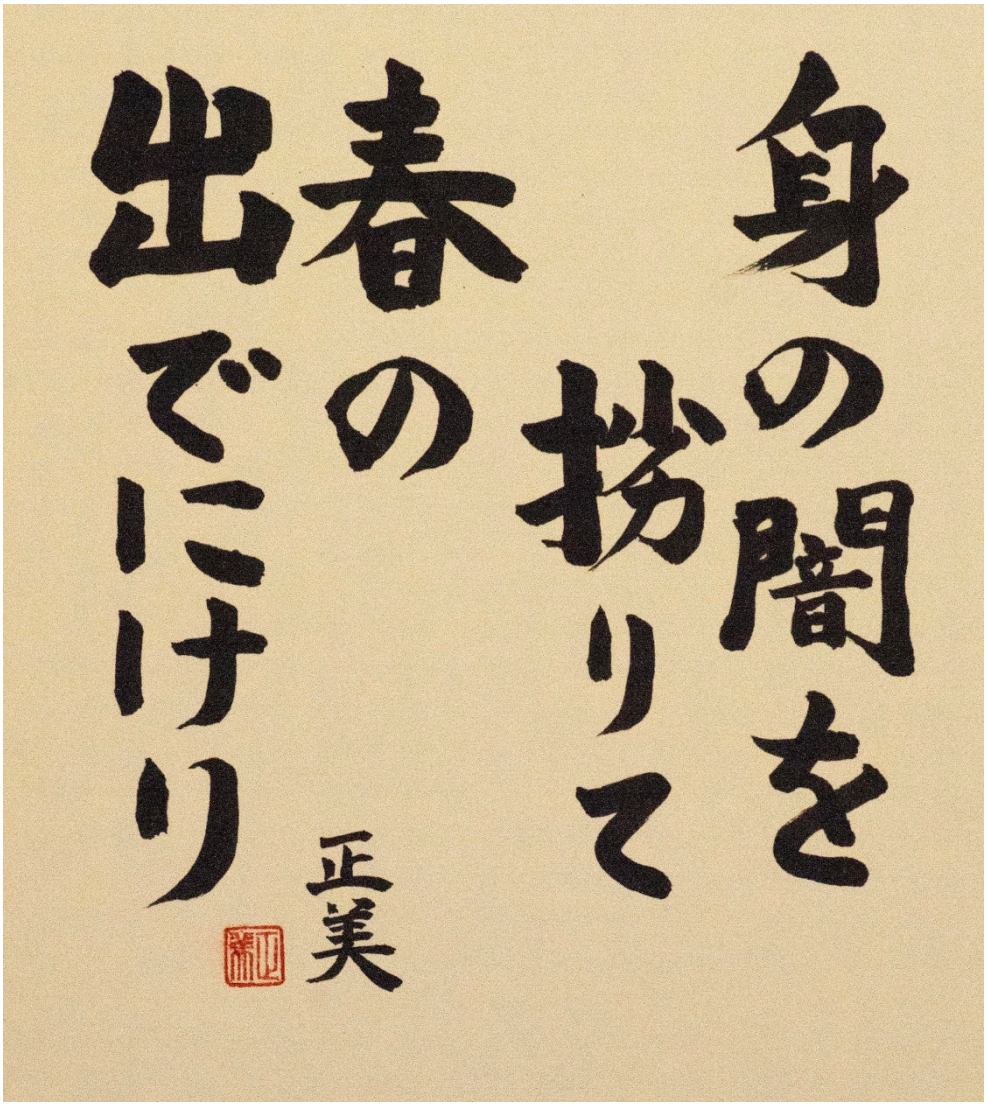

『身の闇を拐りて春の出でにけり』

主宰　佐怒賀 正美
結社　秋　東京都
創刊　昭和三十六年十月
師系　飯田蛇笏・石原八束

俳句の伝統的骨法に西欧象徴詩の手法を取り入れ人間の内面的風景を造型する「内観造型」を基本とし、さらに時空の広がりを意識し宇宙感覚の俳句を目指す。